

豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2026年4月27日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&Dマネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

運用報告書(全体版)(第21作成期)

第119期(2022年8月25日) 第122期(2022年11月25日)
第120期(2022年9月26日) 第123期(2022年12月26日)
第121期(2022年10月25日) 第124期(2023年1月25日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2023年1月25日に第124期決算を行いましたので、第119期から第124期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ト ラース II (ケイマン) 高配 株・ツインαファン ド 入 比 率	純 資 産 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率						
第 17 作 成 期	95期 (2020年8月25日)	円 1,313	円 35	% 2.1	% —	% —	% 98.7	% 98.7	百万円 3,170	
	96期 (2020年9月25日)	1,219	35	△4.5	—	—	98.9	98.9	2,901	
	97期 (2020年10月26日)	1,270	25	6.2	—	—	99.1	99.1	3,010	
	98期 (2020年11月25日)	1,364	25	9.4	—	—	99.0	99.0	3,070	
	99期 (2020年12月25日)	1,346	25	0.5	—	—	98.9	98.9	2,947	
	100期 (2021年1月25日)	1,366	25	3.3	—	—	98.8	98.8	2,998	
第 18 作 成 期	101期 (2021年2月25日)	1,389	25	3.5	—	—	99.0	99.0	3,029	
	102期 (2021年3月25日)	1,407	25	3.1	—	—	99.0	99.0	3,002	
	103期 (2021年4月26日)	1,410	25	2.0	—	—	99.0	99.0	3,028	
	104期 (2021年5月25日)	1,411	25	1.8	—	—	99.0	99.0	2,966	
	105期 (2021年6月25日)	1,413	25	1.9	—	—	99.1	99.1	2,938	
	106期 (2021年7月26日)	1,360	25	△2.0	—	—	99.2	99.2	2,786	
第 19 作 成 期	107期 (2021年8月25日)	1,375	25	2.9	—	—	99.0	99.0	2,820	
	108期 (2021年9月27日)	1,344	25	△0.4	—	—	98.9	98.9	2,690	
	109期 (2021年10月25日)	1,388	25	5.1	—	—	99.1	99.1	2,706	
	110期 (2021年11月25日)	1,367	25	0.3	—	—	99.1	99.1	2,596	
	111期 (2021年12月27日)	1,336	25	△0.4	—	—	98.1	98.1	2,501	
第 20 作 成 期	112期 (2022年1月25日)	1,284	25	△2.0	—	—	98.9	98.9	2,443	
	113期 (2022年2月25日)	1,317	25	4.5	—	—	98.9	98.9	2,528	
	114期 (2022年3月25日)	1,363	25	5.4	—	—	98.9	98.9	2,757	
	115期 (2022年4月25日)	1,390	25	3.8	—	—	98.2	98.2	2,805	
	116期 (2022年5月25日)	1,279	25	△6.2	—	—	98.7	98.7	2,920	
	117期 (2022年6月27日)	1,226	25	△2.2	—	—	98.7	98.7	3,075	
第 21 作 成 期	118期 (2022年7月25日)	1,245	25	3.6	—	—	98.7	98.7	3,212	
	119期 (2022年8月25日)	1,237	25	1.4	—	—	98.7	98.7	3,330	
	120期 (2022年9月26日)	1,194	25	△1.5	—	—	99.2	99.2	3,416	
	121期 (2022年10月25日)	1,160	25	△0.8	—	—	98.7	98.7	3,462	
	122期 (2022年11月25日)	1,194	25	5.1	—	—	98.7	98.7	3,668	
	123期 (2022年12月26日)	1,122	25	△3.9	—	—	92.8	92.8	3,858	
	124期 (2023年1月25日)	1,144	20	3.7	—	—	98.8	98.8	3,957	

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第119期	期 首 (前期末) 2022年 7 月 25 日	1,245	—	—	—	98.7
	7 月 末	1,246	0.1	—	—	99.0
	期 末 2022年 8 月 25 日	1,262	1.4	—	—	98.7
第120期	期 首 (前期末) 2022年 8 月 25 日	1,237	—	—	—	98.7
	8 月 末	1,253	1.3	—	—	99.0
	期 末 2022年 9 月 26 日	1,219	△1.5	—	—	99.2
第121期	期 首 (前期末) 2022年 9 月 26 日	1,194	—	—	—	99.2
	9 月 末	1,147	△3.9	—	—	99.0
	期 末 2022年10月25日	1,185	△0.8	—	—	98.7
第122期	期 首 (前期末) 2022年10月25日	1,160	—	—	—	98.7
	10 月 末	1,184	2.1	—	—	99.0
	期 末 2022年11月25日	1,219	5.1	—	—	98.7
第123期	期 首 (前期末) 2022年11月25日	1,194	—	—	—	98.7
	11 月 末	1,191	△0.3	—	—	99.0
	期 末 2022年12月26日	1,147	△3.9	—	—	92.8
第124期	期 首 (前期末) 2022年12月26日	1,122	—	—	—	92.8
	12 月 末	1,128	0.5	—	—	99.1
	期 末 2023年 1 月 25 日	1,164	3.7	—	—	98.8

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

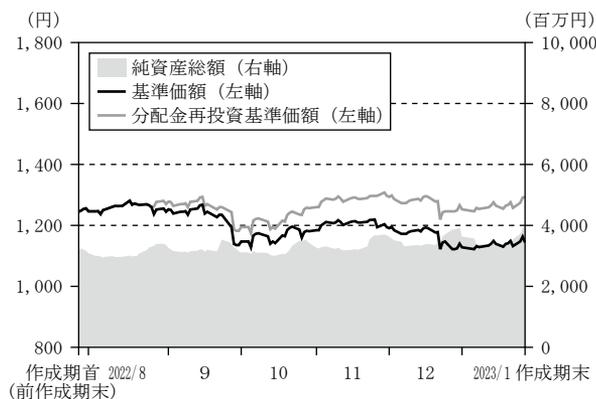
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第119期首：1,245円

第124期末：1,144円（既払分配金145円）

騰落率：3.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年7月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、保有しているオーストラリア高配当株式の価格上昇などがプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 投資環境

【オーストラリア株式市況】

オーストラリア株式市場は上昇しました。RBA（オーストラリア準備銀行）が2022年9月の理事会で4会合連続となる大幅利上げを決定し、その後発表された2022年4－6月期の実質GDP（国内総生産）の堅調さを受けて、更なる金融引締めが警戒されたことや、市場予想を上回る米国のインフレ指標を受けて、FRB（米連邦準備制度理事会）が積極的な利上げを継続するとの見方が強まったことなどから、株価は下落する展開となりました。10月のRBA理事会において、利上げ幅が市場予想より小幅となったことなどを材料に株価は上昇に転じ、その後も、オーストラリアの消費の堅調さを示す経済指標が好感されたほか、10月の米CPI（消費者物価指数）が総合・コア指数ともに市場予想を下回る伸び率となり、FRBが利上げペースを緩和するとの観測から、米国株式市場とともにオーストラリア株式市場も上昇しました。12月には、世界的な金融引締めが2023年も継続するとの見通しや、オーストラリアと経済的な繋がり深い中国の経済活動の鈍化に対する懸念などから株価は軟調に推移しました。しかし2023年に入ると、米国の利上げペースが減速するとの観測や、中国の経済活動再開への期待などから株価は上昇基調で推移しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト （ケイマン）II-豪州高配当株・ツインαファンド	4.3%
T&Dマネーブルマザーファンド	△0.0

【為替市況】

豪ドルは対円で下落しました。オーストラリアの貿易や消費の堅調さを示す経済指標が豪ドルの買い材料となったほか、日銀が大規模金融緩和を維持する一方でRBAが利上げを継続するなか、オーストラリアと日本の金利差の拡大が改めて意識されたことなどから、2022年9月中旬にかけて豪ドルは円に対し上昇しました。その後は、8月の米CPI、コアCPIがともに市場予想を上回ったことへの警戒感などから市場のリスク回避姿勢が強まるなか豪ドルは円に対し下落し、日本政府・日銀が円安けん制のため為替介入に踏み切ったことなどから、さらに豪ドル安円高が進みました。2022年7－9月期の豪CPIが32年ぶりの高水準となったことなどを材料に、豪ドルは円に対し上昇する局面もありましたが、中国における景気減速懸念、欧米の大幅利上げの長期化観測などから市場のリスク回避姿勢が強まるなか、12月中旬にかけて概ね豪ドル安円高基調で推移しました。その後は、日銀が長期金利の許容変動幅を引き上げたことが実質的な利上げと市場に受けとめられ、円が主要通貨に対し独歩高となるなか急速な豪ドル安円高が進む局面もありましたが、中国における移動制限の緩和、豪州産石炭の輸入制限の緩和などが好材料となって豪ドルが買い戻されるなど、豪ドル円相場は上下に振れる展開となりました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.15\%$ から作成期末は $\Delta 0.17\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

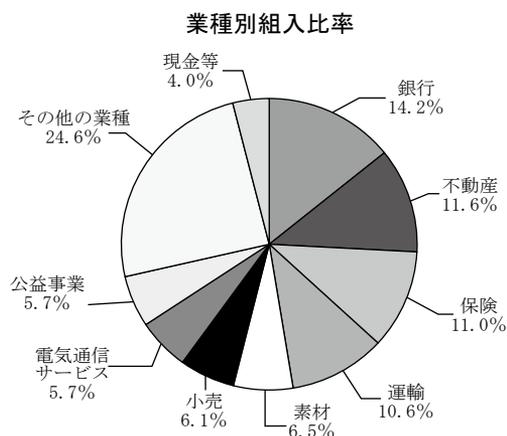
【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプションα戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプションα戦略」を組合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンドの組入状況＞
2022年12月30日現在（現地基準）



組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	5.7%
2	ANZ GROUP HOLDINGS LTD	銀行	5.0
3	AURIZON HOLDINGS LTD	運輸	4.8
4	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	4.2
5	SCENTRE GROUP	不動産	4.1
6	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	エネルギー	4.0
7	ATLAS ARTERIA	運輸	3.5
8	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	3.4
9	APA GROUP	公益事業	3.3
10	SUNCORP GROUP LTD	保険	2.8

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第119期から第123期まで各25円、第124期は20円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T & Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション α 戦略」および「為替オプション α 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

【T & Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2022年7月26日から2023年1月25日まで)

費用の明細

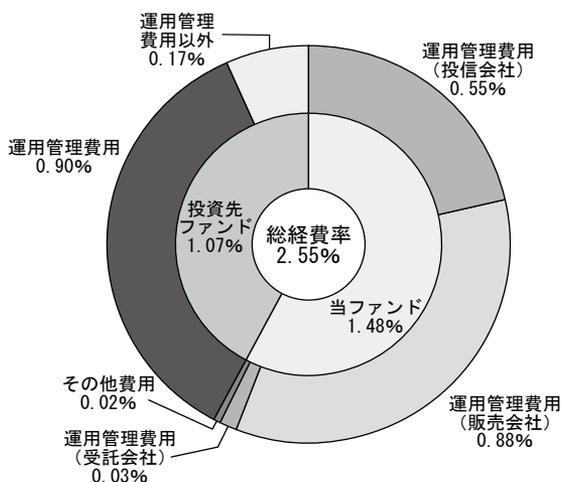
項目	第119期～第124期		項目の概要
	2022/7/26～2023/1/25		
	金額	比率	
平均基準価額	1,191円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	9円 (3) (5) (0)	0.737% (0.277) (0.444) (0.017)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	2 (2)	0.176 (0.176)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	11	0.921	

- (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
 (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。
 (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.55%です。



総経費率 (①+②+③)	2.55%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.90%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

- (注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。
 (注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2022年7月26日から2023年1月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第 119 期 ~ 第 124 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン α ファンド	口 2,509,241	千円 2,936,000	口 1,648,600	千円 1,945,140

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 119 期 ~ 第 124 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 3,658	千円 3,710	千口 -	千円 -	

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2022年7月26日から2023年1月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2023年1月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第118期末)	当 作 成 期 末 (第 124 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン α ファンド	口 2,548,940	口 3,409,581	千円 3,909,358	% 98.8

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 118 期 末)	当 作 成 期 末 (第 124 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 9,718	千口 13,377	千円 13,562

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は334,220千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2023年1月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 124 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン α ファンド	千円 3,909,358	% 91.6
T & D マネープールマザーファンド	13,562	0.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	347,223	8.1
投 資 信 託 財 産 総 額	4,270,143	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年8月25日現在 2022年9月26日現在 2022年10月25日現在 2022年11月25日現在 2022年12月26日現在 2023年1月25日現在

項 目	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末
(A) 資 産	3,516,482,354円	3,860,590,014円	3,784,235,283円	3,921,091,829円	4,115,576,343円	4,270,143,647円
コール・ローン等	219,738,619	458,984,491	351,937,741	287,696,604	521,025,376	347,222,394
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	3,286,886,746	3,388,038,534	3,418,731,890	3,619,829,573	3,580,986,653	3,909,358,277
T&Dマネーボールマザーファンド(評価額)	9,856,989	13,566,989	13,565,652	13,565,652	13,564,314	13,562,976
(B) 負 債	186,091,183	443,625,556	321,845,103	252,732,518	256,907,875	312,336,555
未 払 金	111,000,000	361,000,000	227,000,000	170,000,000	162,000,000	230,000,000
未 払 収 益 分 配 金	67,287,391	71,548,523	74,593,683	76,795,266	85,964,314	69,188,313
未 払 解 約 金	3,967,441	6,851,860	16,550,029	1,769,811	4,562,175	8,835,470
未 払 信 託 報 酬	3,796,015	4,180,280	3,662,165	4,123,516	4,334,838	4,267,271
未 払 利 息	391	898	686	530	927	591
そ の 他 未 払 費 用	39,945	43,995	38,540	43,395	45,621	44,910
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,330,391,171	3,416,964,458	3,462,390,180	3,668,359,311	3,858,668,468	3,957,807,092
元 本	26,914,956,604	28,619,409,294	29,837,473,459	30,718,106,693	34,385,725,925	34,594,156,708
次 期 繰 越 損 益 金	△23,584,565,433	△25,202,444,836	△26,375,083,279	△27,049,747,382	△30,527,057,457	△30,636,349,616
(D) 受 益 権 総 口 数	26,914,956,604口	28,619,409,294口	29,837,473,459口	30,718,106,693口	34,385,725,925口	34,594,156,708口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,237円	1,194円	1,160円	1,194円	1,122円	1,144円

(注) 当ファンドの第119期首元本額は25,803,559,586円、第119～124期中追加設定元本額は31,555,769,044円、第119～124期中一部解約元本額は22,765,171,922円です。

(注) 元本の欠損

第124期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は30,636,349,616円です。

(注) 第124期末の1口当たり純資産額は0.1144円です。

損益の状況

自2022年7月26日 自2022年8月26日 自2022年9月27日 自2022年10月26日 自2022年11月26日 自2022年12月27日
至2022年8月25日 至2022年9月26日 至2022年10月25日 至2022年11月25日 至2022年12月26日 至2023年1月25日

項 目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
(A) 配 当 等 収 益	57,613,580円	61,845,559円	63,826,975円	65,037,837円	71,900,221円	64,298,263円
受 取 配 当 金	57,617,781	61,854,148	63,833,819	65,045,091	71,909,770	64,308,272
受 取 利 息	77	-	-	-	-	-
支 払 利 息	△ 4,278	△ 8,589	△ 6,844	△ 7,254	△ 9,549	△ 10,009
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 15,916,762	△ 109,894,908	△ 81,067,964	94,983,185	△ 204,964,282	72,844,423
売 買 益	857,765	1,749,797	17,950,575	104,557,432	4,621,422	75,934,452
売 買 損	△ 16,774,527	△ 111,644,705	△ 99,018,539	△ 9,574,247	△ 209,585,704	△ 3,090,029
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,835,960	△ 4,224,275	△ 3,700,711	△ 4,166,911	△ 4,380,459	△ 4,312,181
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	37,860,858	△ 52,273,624	△ 20,941,700	155,854,111	△ 137,444,520	132,830,505
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3,286,872,913	△ 2,994,921,116	△ 2,712,862,673	△ 2,433,055,099	△ 2,070,752,722	△ 1,902,685,127
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△20,268,265,987	△22,083,701,573	△23,557,685,223	△24,695,751,128	△28,232,895,901	△28,797,306,681
(追加信託相当額)	(3,030,812,208)	(3,216,536,879)	(3,348,309,004)	(3,442,550,038)	(3,853,708,565)	(3,868,842,486)
(売買損益相当額)	(△23,299,078,195)	(△25,300,238,452)	(△26,905,994,227)	(△28,138,301,166)	(△32,086,604,466)	(△32,666,149,167)
(G) 合 計 (D + E + F)	△23,517,278,042	△25,130,896,313	△26,300,489,596	△26,972,952,116	△30,441,093,143	△30,567,161,303
(H) 収 益 分 配 金	△ 67,287,391	△ 71,548,523	△ 74,593,683	△ 76,795,266	△ 85,964,314	△ 69,188,313
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△23,584,565,433	△25,202,444,836	△26,375,083,279	△27,049,747,382	△30,527,057,457	△30,636,349,616
追 加 信 託 差 損 益 金	△20,281,775,758	△22,097,628,812	△23,572,152,642	△24,709,201,990	△28,251,340,453	△28,804,218,281
(配当等相当額)	(3,017,302,437)	(3,202,609,640)	(3,333,841,585)	(3,429,099,176)	(3,835,264,013)	(3,861,930,886)
(売買損益相当額)	(△23,299,078,195)	(△25,300,238,452)	(△26,905,994,227)	(△28,138,301,166)	(△32,086,604,466)	(△32,666,149,167)
繰 越 損 益 金	△ 3,302,789,675	△ 3,104,816,024	△ 2,802,930,637	△ 2,340,545,392	△ 2,275,717,004	△ 1,832,131,335

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第119期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（53,777,620円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,030,812,208円）より、分配対象収益は3,084,589,828円（1万口当たり1,146円）であり、うち67,287,391円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第120期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（57,621,284円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,216,536,879円）より、分配対象収益は3,274,158,163円（1万口当たり1,144円）であり、うち71,548,523円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第121期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（60,126,264円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,348,309,004円）より、分配対象収益は3,408,435,268円（1万口当たり1,142円）であり、うち74,593,683円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第122期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（63,344,404円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,442,550,038円）より、分配対象収益は3,505,894,442円（1万口当たり1,141円）であり、うち76,795,266円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第123期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（67,519,762円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,853,708,565円）より、分配対象収益は3,921,228,327円（1万口当たり1,140円）であり、うち85,964,314円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第124期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（62,276,713円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,868,842,486円）より、分配対象収益は3,931,119,199円（1万口当たり1,136円）であり、うち69,188,313円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
	2022年7月26日 ～2022年8月25日	2022年8月26日 ～2022年9月26日	2022年9月27日 ～2022年10月25日	2022年10月26日 ～2022年11月25日	2022年11月26日 ～2022年12月26日	2022年12月27日 ～2023年1月25日
当期分配金	25	25	25	25	25	20
（対基準価額比率）	1.981	2.051	2.110	2.051	2.180	1.718
当期の収益	19	20	20	20	19	18
当期の収益以外	5	4	4	4	5	2
翌期繰越分配対象額	1,121	1,119	1,117	1,116	1,115	1,116

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p>[高配当株投資]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 <p>[株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略]</p> <ul style="list-style-type: none"> スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。 スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。 <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>フランクリン・templton・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用）</p> <p>※フランクリン・templton・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2021年2月1日～2022年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	130,435,024
受取利息	18,663
スワップ取引に係る収益・費用	195,052,451
投資に係る純損益	249,898,165
投資純損益	575,404,303
その他収益	948,456
外国為替取引に係る純損益	(2,379,711)
収益合計	573,973,048

費用

投資顧問料	13,827,961
その他費用	4,745,080
取引手数料	948,456
管理・保管費用	10,376,576
事務代行手数料	981,298
運用報酬	523,410
運用費用合計	31,402,781
税引前損益	542,570,267
源泉徴収税	(5,582,659)

期中の純資産変動

536,987,608

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2022年1月31日

1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
MEDIBANK PRIVATE LTD	321,018		80,528,139	保険
AGL ENERGY LTD	68,398		39,424,079	公益事業
SOUTH32 LTD	97,329		30,420,251	素材
VICINITY CENTRES	501,722		66,391,205	不動産
COLES GROUP LTD	39,164		51,506,478	食品・生活必需品小売り
ATLAS ARTERIA	74,778		39,519,791	運輸
INGHAMS GROUP LTD	92,649		24,670,297	食品・飲料・タバコ
AUST AND NZ BANKING GROUP	53,815		115,904,526	銀行
WESTPAC BANKING CORP	36,496		60,145,218	銀行
TELSTRA CORP LTD	359,968		114,553,869	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	32,868		22,893,931	銀行
ASX LTD	3,079		20,794,123	各種金融
BHP GROUP LTD	28,876		108,654,213	素材
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	186,820		74,467,138	小売
TRANSURBAN GROUP	33,447		33,805,419	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	5,865		44,632,660	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	74,522		24,259,881	不動産
APA GROUP	59,100		45,867,511	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	82,135		28,271,830	保険
G. U. D. HOLDINGS LTD	34,761		34,794,864	自動車・自動車部品
GPT GROUP	98,616		39,949,167	不動産
GWA GROUP LTD	73,803		15,158,434	資本財
SUNCORP GROUP LTD	85,648		76,761,968	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	35,760		78,760,253	銀行
JB HI-FI LTD	16,637		62,115,248	小売
INSIGNIA FINANCIAL LTD	157,029		44,745,234	各種金融
QBE INSURANCE GROUP LTD	28,102		25,391,724	保険
STOCKLAND	198,428		65,079,487	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	73,874		29,506,420	消費者サービス
WESFARMERS LTD	8,265		35,366,792	小売
ALUMINA LTD	360,607		55,183,000	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	25,055		50,992,763	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	11,300		31,575,418	食品・生活必需品小売り
SUPER RETAIL GROUP LTD	15,621		14,748,517	小売
DEXUS/AU	18,309		15,235,205	不動産
MACQUARIE GROUP LTD	3,752		55,929,716	各種金融
AURIZON HOLDINGS LTD	273,846		78,254,418	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	139,927		31,920,350	不動産
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	114,128		31,594,129	消費者サービス
PENDAL GROUP LTD	42,928		16,762,760	各種金融
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDINGS	270,267		57,484,944	メディア・娯楽
SCENTRE GROUP	367,340		87,078,487	不動産
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALIA	39,623		20,200,718	食品・生活必需品小売り
AUSNET SERVICES	183,764		38,787,660	公益事業
合計			2,120,088,235	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含みます。

2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
2,507,707,339	(326,002)

(注) () 書きは負数です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第36期（決算日 2022年12月12日）

（計算期間 2022年6月11日から2022年12月12日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2022年12月12日に第36期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純資産総額
	円	騰落率					
32期（2020年12月10日）	10,151	△0.0	—	—	—	—	百万円 430
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	—	—	430
34期（2021年12月10日）	10,145	△0.0	—	—	—	—	409
35期（2022年6月10日）	10,143	△0.0	—	—	—	—	396
36期（2022年12月12日）	10,140	△0.0	—	—	—	—	348

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首 (前期末) 2022年 6 月 10 日	10,143	—	—	—
6 月末	10,143	0.0	—	—
7 月末	10,142	△0.0	—	—
8 月末	10,142	△0.0	—	—
9 月末	10,142	△0.0	—	—
10 月末	10,141	△0.0	—	—
11 月末	10,140	△0.0	—	—
期 末 2022年12月12日	10,140	△0.0	—	—

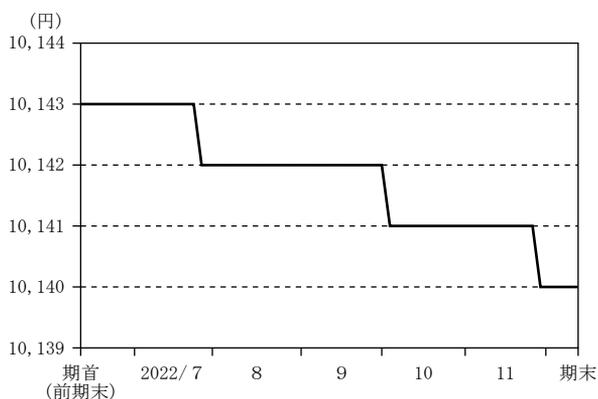
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,143円から期末は10,140円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.10%から期末は△0.18%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2022年6月11日から2022年12月12日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2022/6/11~2022/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	10,141円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2022年6月11日から2022年12月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2022年6月11日から2022年12月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年12月12日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2022年12月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 348,187	% 100.0
投資信託財産総額	348,187	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	348,187,217円
コール・ローン等	348,187,217
(B) 負 債	682
未 払 利 息	682
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	348,186,535
元 本	343,371,912
次 期 繰 越 損 益 金	4,814,623
(D) 受 益 権 総 口 数	343,371,912口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,140円

(注) 期首元本額 390,707,944円
 期中追加設定元本額 4,308,880円
 期中一部解約元本額 51,644,912円

(注) 1 口 当 たり 純 資 産 額 は 1.0140 円 で す。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T & D インド中小型株ファンド	69,040,591円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース	1,653,709円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース	28,961,659円
米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーブル・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型)	13,377,036円
野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型	15,203,451円
野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型	4,690,232円
野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型	6,884,550円
野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型	1,424,313円
野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	13,394,468円
野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	1,651,239円
野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型	124,252,174円
野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型	7,765,966円
野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	1,413,489円
野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	131,726円
野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型	555,674円
野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型	71,774円
野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型	23,292,362円
野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型	3,988,327円
野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型	15,489,184円
野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型	2,464,915円
野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型	3,974,765円
野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型	2,773,196円
野村エマージング債券投信 (マネーブルファンド) 年2回決算型	828,637円

損益の状況

当期 自2022年6月11日 至2022年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 103,688円
受 取 利 息	322
支 払 利 息	△ 104,010
(B) 信 託 報 酬 等	△ 35
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 103,723
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	5,592,314
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	61,120
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 735,088
(G) 合 計 (C + D + E + F)	4,814,623
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	4,814,623

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。